

たまい場つうしん 第4号

—大人も子どもも気軽に立ち寄ってお茶のみ話に花が咲く、そんな地域の公民館をめざして名づけました—



大盛況だった「熊川分水子ども探検隊」



説明に聞き入る探検隊の皆さん

夏休みの一日を利用して、「熊川分水に親しむ会」と公民館白梅分館との共同開催で「熊川分水子ども探検隊」を実施しました。ボランティアの方々を含めて総勢五十四名の参加があり、大盛況のうちに無事に終わることができました。

実施した場所は片倉跡地で、現在は東京都が管理しています。普段は人が入ることができませんが、今回東京都と福生市まちづくり計画課の協力をいただき特別に入ることができました。

ここは、広い野原の中に細い水路が流れています。この水路は「熊川分水」と言い、下流の熊川地区へと水が流れていきます。

水路の周りは草原で自然が残っています。当日の八月二十一日（金）は朝から良い天気にも恵まれました。小さな子どもさんやお父さんお母さんに手を引かれ、魚や昆虫を捕まえるための網などを持って集まりま

した。

ボランティアの方々によるお話を聞いたあと、水路に入って小魚や昆虫を網で捕まえました。水路の底は沼地のようになっている所もあり足元が不安定です。初めのうちはおっかなびっくりだった小さな子どもたちも、慣れてくるにつれて腰まで水に浸かるようになりました。

水路周辺の野原は、草野球ができそうなくらい広々としています。トンボやバッタなどを捕まえたときのうれしい大きな声なども周辺の住宅街までは届かないようでした。

子どもたちは、捕まえた小魚、カニ、エビ、バッタなどについて、ボランティアの方々に名前や飼い方などの説明を聞いていました。家に持ち帰る子、水路に戻す子など様々でした。

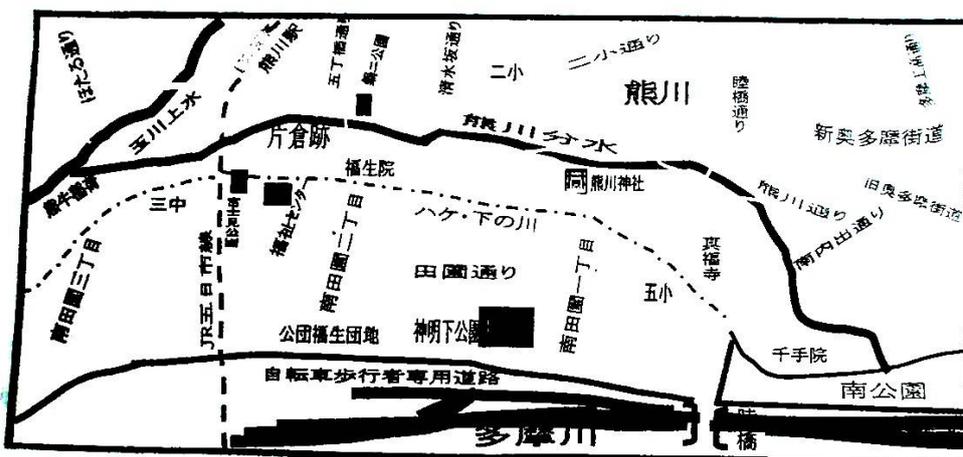
屋前には暑さが厳しくなり、木陰に入る大人たちもいましたが、子どもたちは元気いっぱいには野原を駆け回っていました。

参加者Aくんの声「年に一回ではなくてもっとここで遊べたら良いのになあ。」

片倉跡地には、まだまだ自然がそのまま残っています。その良さを福生に住む多く

の人たちに知っていただこうと、来年の「熊川分水探検隊」企画はさらに充実を図るつもりです。どうぞお楽しみを。

※熊川分水はどこを流れているの？



次のページで、この日「片倉跡地」で見つけた生きものを紹介します。